

---

デジタルパンク通信 第六話 WEB ONLY

---

Q PCでしょうか。テレビでしょうか。

A テレビです。

日本はテレビ大国です。ハード造りはお家芸だし、映像コンテンツの大半はテレビ番組やテレビゲームだし、コンテンツ無規制という世界的にも特殊な政策のせいでテレビ局は強いし。とりあえず異常にテレビが好きな国民です。くだらねえとかつまんねえとか言いながらこんなにテレビ一生懸命みてる国民いません。

それにしてもあいかわらずパソコンはけしからんですな。いまだに使い方はわからんし、フリーズしたりクラッシュしたりするし、買ったとたんに旧式になるし。アメリカ製だからってエラそうにすんなってんだよ、でございますな。

コンピュータとテレビは融合しようとしてきました。10年前から始まったマルチメディアの動きがそうです。コンピュータはテレビのように動画が扱えるようになった。テレビは番組を見るだけじゃなくて、ビデオやゲームをくっつけてインタラクティブに遊べるようになった。互いに接近したわけです。

でもまだ融合してない。PCのディスプレイでテレビ番組を見るというパターンは定着してません。テレビにセットトップボックスやゲーム機くっつけてインターネットするっていうのもまだこれからです。

アメリカでは、テレウェバーズが急増しているといいます。テレビみながら同時にPCでウェブをサーフする人たちのことです。テレビでドットCOMのCMみて、詳しくはPC-インターネットに誘われる、という寸法です。どっちか、じゃなくて、どっちも、なんですな。どうやらしばらくはPCとテレビは別々の存在として生きていくようですな。

似ているようで根本的に違いますからね。わたしゃPCは机の上にあってイスに座って対決しますけど、わたしゃテレビは寝ころんで屁エこいて見ますからね。どっちがエライ？そりゃ、一緒にゴロゴロできる相手の方がエライに決まっています。すました美人より肉体関係のあるブス。くやしかったらゴロゴロしながらメールできるPC作ってみろ、でございますな。

デジタルテレビはアメリカが先行しました。ところが、大画面・高画質の道を選んでしまい、インターネットと融合したインタラクティブなサービスの開発が進んでません。戦略を間違いましたな。日本は遅れてスタート。まずは衛星、それから地上波。遅れても、土壌が豊かなので、普及は速いでしょう。

これがネットとどう結合していくか。テレビとインターネットとケータイをどう組み合わせてサービスを構築するか。その収入構造や権利構造をどう整理するか。誰にどういう具合に電波を割り当てるか。それが日本のデジタルの行方を決めます。

インターネットやPCでアメリカに遅れを取っても致命的ではありませんが、デジタルテレビで失敗したら、日本のデジタルに未来はありません。ここが本番です。

ドットコムドットコムドットコムドットコムドットコム。じゃじゃ馬億万長者になるた

めの念仏だ。どいつもこいつもドットコム免罪符を売ったり買ったりで忙しい。

---